



P/1927-10

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of

Masaki KAMIYA

Date: December 11, 2003

Serial No.: 10/626,402

Group Art Unit: --

Filed: July 24, 2003

Examiner: --

For: MOBILE COMMUNICATION TERMINAL AND METHOD OF CONTROLLING  
THE SAME AS WELL AS PROGRAM TO BE EXECUTED FOR  
IMPLEMENTATION OF THE METHOD

Commissioner for Patents  
P.O. Box 1450  
Alexandria, VA 22313-1450

SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENT

Sir:

In accordance with 35 U.S.C. §119, Applicant confirm the prior request for priority under the International Convention and submits herewith the following document in support of the claim:

Certified Japanese Application No.  
2002-214625 Filed July 24, 2002.

I hereby certify that this correspondence is being deposited with the United States Postal Service with sufficient postage as First Class Mail in an envelope addressed to: Commissioner for Patents, P.O. Box 1450, Alexandria, VA 22313-1450, on December 11, 2003:

Max Moskowitz

Name of applicant, assignee or  
Registered Representative

Signature

December 11, 2003

Date of Signature

MM:lac

Respectfully submitted,

Max Moskowitz

Registration No.: 30,576

OSTROLENK, FABER, GERB & SOFFEN, LLP

1180 Avenue of the Americas

New York, New York 10036-8403

Telephone: (212) 382-0700

日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

US

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日  
Date of Application:

2002年 7月24日

出願番号  
Application Number:

特願2002-214625

[ST.10/C]:

[JP2002-214625]

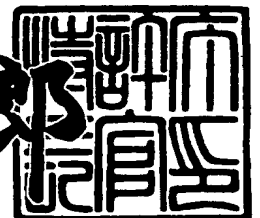
出願人  
Applicant(s):

日本電気株式会社

2003年 6月 2日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

太田信一郎



出証番号 出証特2003-3042303

【書類名】 特許願

【整理番号】 53209994

【提出日】 平成14年 7月24日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 3/00

【発明者】

    【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

    【氏名】 神谷 昌紀

【特許出願人】

    【識別番号】 000004237

    【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】

    【識別番号】 100088812

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 ▲柳▼川 信

【手数料の表示】

    【予納台帳番号】 030982

    【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

    【物件名】 明細書 1

    【物件名】 図面 1

    【物件名】 要約書 1

    【包括委任状番号】 9001833

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 移動通信端末装置、その制御方法及びプログラム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 表示部を有する移動通信端末装置であって、

当該装置に保持されているデータがユーザに参照された場合に、前記データに関連付けられ前記データの参照用の表示体を前記表示部の待ち受け画面上に表示すべく制御をなす制御手段を含むことを特徴とする移動通信端末装置。

【請求項 2】 前記制御手段は、表示された前記表示体が選択されたとき、前記データを再びユーザに参照させるべく制御をなすようにしたことを特徴とする請求項 1 記載の移動通信端末装置。

【請求項 3】 表示部を有する移動通信端末装置であって、

当該装置に保持されているデータがユーザに参照された場合に、前記データに関連付けられ前記データに対する複数の実行可能な機能の提供用の表示体を前記表示部の待ち受け画面上に表示すべく制御をなす制御手段を含むことを特徴とする移動通信端末装置。

【請求項 4】 前記制御手段は、表示された前記表示体が選択されたとき、前記データに対する複数の実行可能な機能の一覧を前記表示部に表示すべく制御をなすようにしたことを特徴とする請求項 3 記載の移動通信端末装置。

【請求項 5】 前記制御手段は、前記データ（以下、第 1 のデータと称す）とは別のデータ（以下、第 2 のデータと称す）がユーザに参照された場合に、前記第 1 のデータに関連付けられた前記表示体に代えて前記第 2 のデータに関連付けられた表示体を前記表示部の待ち受け画面上に表示すべく制御をなすことを特徴とする請求項 1 ～ 4 いずれか記載の移動通信端末装置。

【請求項 6】 前記制御手段は、前記第 2 のデータが前記第 1 のデータの種別と異なる種類のデータであれば、前記第 1 のデータに関連付けられた前記表示体と共に前記第 2 のデータに関連付けられた前記表示体を前記表示部の待ち受け画面上に表示すべく制御をなすことを特徴とする請求項 5 記載の移動通信端末装置。

【請求項 7】 表示部を有する移動通信端末装置であって、  
通信ネットワークを介してこのネットワークに接続されたサーバが保持するファイルをアクセスした場合に、前記ファイルのアドレスに関連付けられ前記ファイルのアクセス用の表示体を前記表示部の待ち受け画面上に表示すべく制御をなす制御手段を含むことを特徴とする移動通信端末装置。

【請求項 8】 前記制御手段は、表示された前記表示体が選択されたとき、前記通信ネットワークを介して前記ファイルを再びアクセスすべく制御をなすようにしたことを特徴とする請求項 7 記載の移動通信端末装置。

【請求項 9】 表示部を有する移動通信端末装置であって、  
通信ネットワークを介してこのネットワークに接続されたサーバが保持するファイルをアクセスした場合に、前記ファイルのアドレスに関連付けられ前記アドレスに対する複数の実行可能な機能の提供用の表示体を前記表示部の待ち受け画面上に表示すべく制御をなす制御手段を含むことを特徴とする移動通信端末装置。

【請求項 10】 前記制御手段は、表示された前記表示体が選択されたとき、前記アドレスに対する複数の実行可能な機能の一覧を前記表示部に表示すべく制御をなすようにしたことを特徴とする請求項 9 記載の移動通信端末装置。

【請求項 11】 前記制御手段は、前記ファイル（以下、第 1 のファイルと称す）とは別のファイル（以下、第 2 のファイルと称す）を前記通信ネットワークを介してアクセスした場合に、前記第 1 のファイルのアドレスに関連付けられた前記表示体に代えて前記第 2 のファイルのアドレスに関連付けられた表示体を前記表示部の待ち受け画面上に表示すべく制御をなすことを特徴とする請求項 7 ～ 10 いずれか記載の移動通信端末装置。

【請求項 12】 表示部を有する移動通信端末装置の制御方法であって、  
当該装置に保持されているデータがユーザに参照された場合に、前記データに関連付けられ前記データの参照用の表示体を前記表示部の待ち受け画面上に表示

関連付けられ前記データに対する複数の実行可能な機能の提供用の表示体を前記表示部の待ち受け画面上に表示すべく制御をなすステップを含むことを特徴とする制御方法。

【請求項 1 4】 表示部を有する移動通信端末装置の制御方法であって、  
通信ネットワークを介してこのネットワークに接続されたサーバが保持するファイルをアクセスした場合に、前記ファイルのアドレスに関連付けられ前記ファイルのアクセス用の表示体を前記表示部の待ち受け画面上に表示すべく制御をなすステップを含むことを特徴とする制御方法。

【請求項 1 5】 表示部を有する移動通信端末装置の制御方法であって、  
通信ネットワークを介してこのネットワークに接続されたサーバが保持するファイルをアクセスした場合に、前記ファイルのアドレスに関連付けられ前記アドレスに対する複数の実行可能な機能の提供用の表示体を前記表示部の待ち受け画面上に表示すべく制御をなすステップを含むことを特徴とする制御方法。

【請求項 1 6】 表示部を有する移動通信端末装置の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、

当該装置に保持されているデータがユーザに参照された場合に、前記データに関連付けられ前記データの参照用の表示体を前記表示部の待ち受け画面上に表示すべく制御をなすステップを含むことを特徴とするプログラム。

【請求項 1 7】 表示部を有する移動通信端末装置の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、

当該装置に保持されているデータがユーザに参照された場合に、前記データに関連付けられ前記データに対する複数の実行可能な機能の提供用の表示体を前記表示部の待ち受け画面上に表示すべく制御をなすステップを含むことを特徴とするプログラム。

【請求項 1 8】 表示部を有する移動通信端末装置の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、

通信ネットワークを介してこのネットワークに接続されたサーバが保持するファイルをアクセスした場合に、前記ファイルのアドレスに関連付けられ前記ファイルのアクセス用の表示体を前記表示部の待ち受け画面上に表示すべく制御をな

すステップを含むことを特徴とするプログラム。

【請求項 1 9】 表示部を有する移動通信端末装置の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、

通信ネットワークを介してこのネットワークに接続されたサーバが保持するファイルをアクセスした場合に、前記ファイルのアドレスに関連付けられ前記アドレスに対する複数の実行可能な機能の提供用の表示体を前記表示部の待ち受け画面上に表示すべく制御をなすステップを含むことを特徴とするプログラム。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は移動通信端末装置、その制御方法及びプログラムに関し、特にアイコン等の表示体を表示する表示部を有する移動通信端末装置に関する。

【 0 0 0 2】

【従来の技術】

従来、携帯電話機などの移動通信端末装置において、ユーザは、キー操作部等の入力手段を用いて、装置内に保存されている電子メール、画像、メロディ等のデータから所望のデータを選択することにより、このデータを表示部やスピーカ等の出力手段を介して参照することが可能である。

【 0 0 0 3】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、ユーザにより前回参照したデータを今回再び参照するためには、前回の参照時になした操作と同様の操作をユーザはする必要がある。すなわち、前回参照されたデータを再び参照するために、ユーザは、入力手段を用いて、データを参照するための機能を起動し、そして、表示部に表示されるデータの一覧表等からデータを選択しなければならない。例えば、前回表示させた受信メールを再度確認する場合、ユーザは、メール機能を起動して、受信メールの一覧から目的のメールを選択する必要がある。

【 0 0 0 4】

また、ユーザが前回参照したデータを今回再び参照する際に、前回参照したデ

ータを覚えていない場合、このデータの検索が困難になる。

【0005】

本発明の目的は、使い勝手を向上させることができる移動通信端末装置、その制御方法及びプログラムを提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明による第1の移動通信端末装置は、表示部を有する移動通信端末装置であって、当該装置に保持されているデータがユーザに参照された場合に、前記データに関連付けられ前記データの参照用の表示体を前記表示部の待ち受け画面上に表示すべく制御をなす制御手段を含むことを特徴とする。

【0007】

本発明による第2の移動通信端末装置は、表示部を有する移動通信端末装置であって、当該装置に保持されているデータがユーザに参照された場合に、前記データに関連付けられ前記データに対する複数の実行可能な機能の提供用の表示体を前記表示部の待ち受け画面上に表示すべく制御をなす制御手段を含むことを特徴とする。

【0008】

本発明による第3の移動通信端末装置は、表示部を有する移動通信端末装置であって、通信ネットワークを介してこのネットワークに接続されたサーバが保持するファイルをアクセスした場合に、前記ファイルのアドレスに関連付けられ前記ファイルのアクセス用の表示体を前記表示部の待ち受け画面上に表示すべく制御をなす制御手段を含むことを特徴とする。

【0009】

本発明による第4の移動通信端末装置は、表示部を有する移動通信端末装置であって、通信ネットワークを介してこのネットワークに接続されたサーバが保持するファイルをアクセスした場合に、前記ファイルのアドレスに関連付けられ前記アドレスに対する複数の実行可能な機能の提供用の表示体を前記表示部の待ち受け画面上に表示すべく制御をなす制御手段を含むことを特徴とする。

【0010】



本発明による第 1 の制御方法は、表示部を有する移動通信端末装置の制御方法であって、当該装置に保持されているデータがユーザに参照された場合に、前記データに関連付けられ前記データの参照用の表示体を前記表示部の待ち受け画面上に表示すべく制御をなすステップを含むことを特徴とする。

## 【 0 0 1 1 】

本発明による第 2 の制御方法は、表示部を有する移動通信端末装置の制御方法であって、当該装置に保持されているデータがユーザに参照された場合に、前記データに関連付けられ前記データに対する複数の実行可能な機能の提供用の表示体を前記表示部の待ち受け画面上に表示すべく制御をなすステップを含むことを特徴とする。

## 【 0 0 1 2 】

本発明による第 3 の制御方法は、表示部を有する移動通信端末装置の制御方法であって、通信ネットワークを介してこのネットワークに接続されたサーバが保持するファイルをアクセスした場合に、前記ファイルのアドレスに関連付けられ前記ファイルのアクセス用の表示体を前記表示部の待ち受け画面上に表示すべく制御をなすステップを含むことを特徴とする。

## 【 0 0 1 3 】

本発明による第 4 の制御方法は、表示部を有する移動通信端末装置の制御方法であって、通信ネットワークを介してこのネットワークに接続されたサーバが保持するファイルをアクセスした場合に、前記ファイルのアドレスに関連付けられ前記アドレスに対する複数の実行可能な機能の提供用の表示体を前記表示部の待ち受け画面上に表示すべく制御をなすステップを含むことを特徴とする。

## 【 0 0 1 4 】

本発明による第 1 のプログラムは、表示部を有する移動通信端末装置の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、当該装置に保持されているデータがユーザに参照された場合に、前記データに関連付けられ前記データの参照用の表示体を前記表示部の待ち受け画面上に表示すべく制御をなすステップを含むことを特徴とする。

## 【 0 0 1 5 】

本発明による第2のプログラムは、表示部を有する移動通信端末装置の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、当該装置に保持されているデータがユーザに参照された場合に、前記データに関連付けられ前記データに対する複数の実行可能な機能の提供用の表示体を前記表示部の待ち受け画面上に表示すべく制御をなすステップを含むことを特徴とする。

## 【0016】

本発明による第3のプログラムは、表示部を有する移動通信端末装置の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、通信ネットワークを介してこのネットワークに接続されたサーバが保持するファイルをアクセスした場合に、前記ファイルのアドレスに関連付けられ前記ファイルのアクセス用の表示体を前記表示部の待ち受け画面上に表示すべく制御をなすステップを含むことを特徴とする。

## 【0017】

本発明による第4のプログラムは、表示部を有する移動通信端末装置の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、通信ネットワークを介してこのネットワークに接続されたサーバが保持するファイルをアクセスした場合に、前記ファイルのアドレスに関連付けられ前記アドレスに対する複数の実行可能な機能の提供用の表示体を前記表示部の待ち受け画面上に表示すべく制御をなすステップを含むことを特徴とする。

## 【0018】

本発明の作用は次の通りである。移動通信端末装置に保持されているデータがユーザに参照されたならば、待ち受け画面表示時に、当該データに関連付けられ当該データの参照用の表示体を表示部に表示するようにしている。したがって、表示された表示体がユーザにより選択されたとき、これに関連付けられたデータが当該装置の出力手段から出力され、再びユーザに参照される。

## 【0019】

また、移動通信端末装置が通信ネットワークを介してサーバのファイルをアクセスしたならば、待ち受け画面表示時に、当該ファイルのアドレスに関連付けられ当該ファイルのアクセス用の表示体を表示部に表示するようにしている。した

がって、表示された表示体がユーザにより選択されたとき、これに関連付けられたアドレスを基に再び通信ネットワークを介してファイルをアクセスする。

【 0 0 2 0 】

また、移動通信端末装置に保持されているデータがユーザに参照されたならば、待ち受け画面表示時に、当該データに関連付けられ当該データに対する複数の実行可能な機能の提供用の表示体を表示部に表示するようにしている。したがって、表示された表示体がユーザにより選択されたとき、これに関連付けられたデータに対する複数の実行可能な機能の一覧が表示部に表示され、この一覧の中からユーザにより選択された機能が起動され実行される。

【 0 0 2 1 】

また、移動通信端末装置が通信ネットワークを介してサーバのファイルをアクセスしたならば、待ち受け画面表示時に、当該ファイルのアドレスに関連付けられ当該アドレスに対する複数の実行可能な機能の提供用の表示体を表示部に表示するようにしている。したがって、表示された表示体がユーザにより選択されたとき、これに関連付けられたアドレスに対する複数の実行可能な機能の一覧が表示部に表示され、この一覧の中からユーザにより選択された機能が起動され実行される。

【 0 0 2 2 】

なお、表示体としては、アイコン、文字、数字等が用いられる。

【 0 0 2 3 】

【発明の実施の形態】

以下に、本発明の実施例について図面を参照して説明する。

【 0 0 2 4 】

図 1 は本発明の実施例による携帯電話機の構成を示す図である。図 1 において、本発明の実施例による携帯電話機 1 0 は、アンテナ 1 1 と、送受信部 1 2 と、制御部 1 3 と、記憶部 1 4 と、表示制御部 1 5 と、表示部 1 6 と、入力部 1 7 と、スピーカ 1 8 とを有している。

【 0 0 2 5 】

送受信部 1 2 は、制御部 1 3 からの制御に従ってアンテナを介して信号の送受

信処理をなすためのものである。制御部 1 3 は、記憶部 1 4 に格納されたプログラムに従って動作し、携帯電話機 1 0 の各部を制御する。記憶部 1 4 には、電子メール、画像、メロディ、電話帳、URL (Uniform Resource Locator) アドレス等の各種データが記憶されている。また、記憶部 1 4 には、例えばデータの種類とアイコンとの対応関係を示したテーブル（図示せず）が記憶されている。

## 【 0 0 2 6 】

表示制御部 1 5 は、制御部 1 3 からの制御に従って各種情報を表示部 1 6 に表示させるための表示制御を行う。表示部 1 6 は、LCD (Liquid Crystal Display) 等である。入力部 1 7 は、ユーザが携帯電話機 1 0 を操作するためのものである。表示部 1 6 とスピーカ 1 8 とが携帯電話機 1 0 の出力手段である。

## 【 0 0 2 7 】

次に、本発明の実施例による携帯電話機 1 0 の動作について図面を用いて説明する。図 2 は図 1 の携帯電話機 1 0 の動作を示すフローチャートであり、(a) はデータ参照時の動作を示すフローチャートであり、(b) は待ち受け画面表示時の動作を示すフローチャートである。なお、待ち受け画面は、携帯電話機 1 0 に備えられているいずれのアプリケーションソフトも実行されていないとき（すなわち、携帯電話機 1 0 がアイドル状態にあるとき）における表示部 1 6 の表示画面である。また、通常、待ち受け画面には、現在時刻情報やバッテリー残量情報等が表示される。

## 【 0 0 2 8 】

図 1 及び図 2 (a) において、携帯電話機 1 0 に保持されている所望のデータを参照するために、ユーザが入力部 1 7 を操作することにより記憶部 1 4 内のデータを選択すると（ステップ A 1）、制御部 1 3 が選択されたデータを出力手段に出力させるべく制御をなすことにより、出力手段は当該データを出力する（ステップ A 2）。これにより、ユーザは出力手段を介して当該データを参照することができる。

## 【 0 0 2 9 】

電子メールを参照する場合には、ユーザが入力部 1 7 を操作することによりメール参照機能を起動し、入力部 1 7 により所望のメールを選択すると（ステップ A 1）、制御部 1 3 からの指示に従って表示制御部 1 5 は、記憶部 1 4 に記憶されている当該メールを表示部 1 6 に表示させる（ステップ A 2）。

## 【 0 0 3 0 】

画像を参照する場合には、ユーザが入力部 1 7 を操作することにより画像参照機能を起動し、入力部 1 7 により所望の画像を選択すると（ステップ A 1）、制御部 1 3 からの指示に従って表示制御部 1 5 は、記憶部 1 4 に記憶されている当該画像を表示部 1 6 に表示させる（ステップ A 2）。

## 【 0 0 3 1 】

メロディを参照する場合には、ユーザが入力部 1 7 を操作することによりメロディ参照機能を起動し、入力部 1 7 により所望のメロディを選択すると（ステップ A 1）、制御部 1 3 は、記憶部 1 4 に記憶されている当該メロディをスピーカ 1 8 に鳴動させる（ステップ A 2）。

## 【 0 0 3 2 】

電話帳を参照する場合には、ユーザが入力部 1 7 を操作することにより電話帳参照機能を起動し、入力部 1 7 により所望の電話番号を選択すると（ステップ A 1）、制御部 1 3 は、記憶部 1 4 に記憶されている当該電話番号を表示部 1 6 に表示させる（ステップ A 2）。

## 【 0 0 3 3 】

ステップ A 2 において出力手段がユーザにより選択されたデータを出力すると同時に、制御部 1 3 は、出力データを示す参照情報（出力データの種別、携帯電話機 1 0 内部における出力データの管理番号、記憶部 1 4 における出力データの記憶領域等）を記憶部 1 4 の所定の記憶領域に保存する（ステップ A 3）。このステップ A 3 において、既に別のデータを示す参照情報が保存されているならば、この別のデータを示す参照情報を消去して上記出力データを示す参照情報を保存する。

## 【 0 0 3 4 】

なお、ステップ A 3 において、上記出力データの種別と上記別のデータの種別

とが異なるものであれば、上記別のデータを示す参照情報を消去することなく、上記出力データを示す参照情報を保存するようにしてもよい。したがって、この場合、例えば、メールが参照された後、別のメールが参照されたならば、記憶部 1 4 の所定の記憶領域にはこの別のメールを示す参照情報のみが格納されていることになる。一方、例えば、メールが参照された後、画像が参照されたならば、記憶部 1 4 の所定の記憶領域にはこのメールを示す参照情報及びこの画像を示す参照情報が格納されていることになる。

## 【 0 0 3 5 】

図 1 及び図 2 ( b ) において、表示部 1 6 の表示画面が待ち受け画面に遷移する際 ( ステップ A 4 ) 、制御部 1 3 は、図 2 ( a ) のステップ A 3 において保存された参照情報を取得する ( ステップ A 5 ) 。制御部 1 3 は、記憶部 1 4 に記憶されているテーブルを基に、参照情報に含まれているデータの種類に対応するアイコンを求め、そして、表示制御部 1 5 は、制御部 1 3 からの指示に従ってこのアイコンを表示部 1 6 に表示させる ( ステップ A 6 ) 。したがって、アイコンは待ち受け画面上に表示されることになる。さらに、制御部 1 3 は、表示されたアイコンと参照情報とを関連付け、すなわち、表示されたアイコンと参照情報が示すデータとを関連付け、このリンク情報を記憶部 1 4 の所定の記憶領域に保存する ( ステップ A 7 ) 。

## 【 0 0 3 6 】

このようにアイコンが表示されている状態において、ユーザが入力部 1 7 を操作することにより待ち受け画面上でアイコンが選択されると ( ステップ A 8 ) 、制御部 1 3 は、ステップ A 7 において保存されたリンク情報を取得する ( ステップ A 9 ) 。そして、制御部 1 3 は、このリンク情報を基に、選択されたアイコンに関連付けられたデータを出力手段に出力させるべく制御をなすことにより、出力手段は当該データを出力する ( ステップ A 1 0 ) 。これにより、ユーザは出力手段を介して当該データを再び参照することができる。

## 【 0 0 3 7 】

図 2 ( a ) 及び ( b ) に示された動作に従った表示部 1 6 の表示画面の遷移例を、電子メールを例にとり説明する。図 3 は図 1 の表示部 1 6 の表示画面の遷移

例を示す図である。

【 0 0 3 8 】

図 1 及び図 3 において、ユーザが入力部 1 7 を操作することによりメール参照機能を起動すると、記憶部 1 4 に保存されているメールの一覧が表示部 1 6 に表示される（画面 C 参照）。このメール一覧画面上にて、ユーザが入力部 1 7 を用いて例えばメール 1 を選択すると、メール 1 の本文が表示部 1 6 に表示される（画面 D 参照）。

【 0 0 3 9 】

ユーザによるメール 1 の参照が終了し、表示部 1 6 の表示画面が待ち受け画面に遷移すると、この待ち受け画面上にはメール 1 に関連付けられたアイコンが表示される（画面 E 参照）。なお、上述したように、待ち受け画面には、通常、現在時刻情報やバッテリー残量情報等が表示されるが、画面 E ではこれらは省略している。そして、この待ち受け画面上にて、ユーザが入力部 1 7 を用いてこのアイコンを選択すると、メール 1 の本文が再び表示部 1 6 に表示される（画面 F 参照）。

【 0 0 4 0 】

また、本発明の実施例による携帯電話機 1 0 は、通信ネットワークに接続可能であり、この通信ネットワークを介してサーバが保持するファイルを参照可能である。以下、これについて図面を用いて説明する。

【 0 0 4 1 】

図 4 は図 1 の携帯電話機 1 0 を含む移動通信システムの構成を示す図である。図 4 に示した移動通信システムは、携帯電話機 1 0 と、基地局 2 0 と、サーバ 3 0 と、通信ネットワーク 4 0 とを有している。通信ネットワーク 4 0 に接続された基地局 2 0 は、携帯電話機 1 0 と無線通信を行うものである。通信ネットワーク 4 0 に接続されたサーバ 3 0 は、複数のファイル（例えば HTML（Hyper Text Markup Language）ファイル）を保持している。通信ネットワーク 4 0 は、携帯電話網やインターネット等である。

【 0 0 4 2 】

携帯電話機 1 0 は、基地局 2 0 及び通信ネットワーク 4 0 を介してサーバ 3 0

の複数のファイルの各々をアクセスすることができる。

【 0 0 4 3 】

次に、この移動通信システムにおける携帯電話機 1 0 の動作について図面を用いて説明する。図 5 は図 1 の携帯電話機 1 0 の動作を示すフローチャートであり、( a ) はサーバのファイル参照時の動作を示すフローチャートであり、( b ) は待ち受け画面表示時の動作を示すフローチャートである。

【 0 0 4 4 】

図 1、図 4 及び図 5 ( a ) において、ユーザが入力部 1 7 を用いてブラウザ機能を起動させることにより、携帯電話機 1 0 が基地局 2 0 及び通信ネットワーク 4 0 を介してサーバ 3 0 のファイルを取得すると ( ステップ B 1 )、制御部 1 3 からの指示に従って表示制御部 1 5 は、このファイルを表示部 1 6 に表示させる。すなわち、このファイルに基づく W e b ( ウェブ ) ページが表示部 1 6 に表示される ( ステップ B 2 )。

【 0 0 4 5 】

W e b ページを表示すると同時に、制御部 1 3 は、このファイルの U R L アドレスを記憶部 1 4 の所定の記憶領域に保存する ( ステップ B 3 )。このステップ B 3 において、既に別の U R L アドレスが保存されているならば、この別の U R L アドレスは削除するようにする。なお、ステップ B 3 において、記憶部 1 4 に上述した参照情報が記憶されているならば、これを削除するようにしてもよい。

【 0 0 4 6 】

図 1、図 4 及び図 5 ( b ) において、表示部 1 6 の表示画面が待ち受け画面に遷移する際 ( ステップ B 4 )、制御部 1 3 は、図 5 ( a ) のステップ B 3 において保存された U R L アドレスを取得する ( ステップ B 5 )。制御部 1 3 は、記憶部 1 4 に記憶されているテーブルを基に、U R L アドレスに対応するアイコンを求め、そして、表示制御部 1 5 は、制御部 1 3 からの指示に従ってこのアイコンを表示部 1 6 に表示させる ( ステップ B 6 )。したがって、アイコンは待ち受け画面上に表示されることになる。さらに、制御部 1 3 は、表示されたアイコンと U R L アドレスとを関連付け、このリンク情報を記憶部 1 4 の所定の記憶領域に保存する ( ステップ B 7 )。



## 【 0 0 4 7 】

このようにアイコンが表示されている状態において、ユーザが入力部 1 7 を操作することにより待ち受け画面上でアイコンが選択されると（ステップ B 8）、制御部 1 3 は、ステップ B 7 において保存されたリンク情報を取得する（ステップ B 9）。そして、制御部 1 3 の制御により、携帯電話機 1 0 は、選択されたアイコンに関連付けられた URL アドレスを基に、通信ネットワーク 4 0 を介してサーバ 3 0 のファイルを取得する（ステップ B 1 0）。そして、このファイルに基づく Web ページが表示部 1 6 に表示される（ステップ B 1 1）。これにより、ユーザは当該 Web ページを再び参照することができる。

## 【 0 0 4 8 】

携帯電話機 1 0 の待ち受け画面表示時の動作を図 2（b）と図 5（b）とを用いて URL アドレスとこれ以外のデータとに分けて説明したが、これらは互いに独立した動作ではない。

## 【 0 0 4 9 】

すなわち、図 2（b）を用いて説明すれば、図 2（b）のステップ A 5 において、図 2（a）のステップ A 3 において保存された参照情報と図 5（a）のステップ B 3 において保存された URL アドレスとがあるならば、これらを取得する。そして、図 2（b）のステップ A 6 において、取得された参照情報に含まれるデータの種類に対応するアイコン（第 1 のアイコン）と、URL アドレスに対応するアイコン（第 2 のアイコン）とが表示される。図 2（b）のステップ A 8 において第 1 のアイコンが選択されるならば、図 2（b）のステップ A 1 0 において第 1 のアイコンに関連付けられたデータが出力手段より出力される。一方、図 2（b）のステップ A 8 において第 2 のアイコンが選択されるならば、図 2（b）のステップ A 1 0 において、第 2 のアイコンに関連付けられた URL アドレスを基に通信ネットワークを介して取得される Web ページが表示部 1 6 に表示される。

## 【 0 0 5 0 】

以上説明したように、本発明の実施例では、携帯電話機に保持されているデータがユーザに参照されたならば、待ち受け画面表示時に、当該データに関連付け

られ当該データの参照用のアイコンを表示部に表示するようにしている。また、通信ネットワークを介してサーバのファイルをアクセスしたならば、待ち受け画面表示時に、当該ファイルのアドレスに関連付けられ当該ファイルのアクセス用のアイコンを表示部に表示するようにしている。したがって、前回参照したデータをもう1度参照するために、前回参照時の操作と同様の操作を行う必要がなくなり、携帯電話機の使い勝手が向上される。

## 【 0 0 5 1 】

なお、図2（b）では、表示部16に表示されたアイコンが選択されると、これに関連付けられたデータが出力手段により出力されたが、表示部16に表示されたアイコンが選択されると、これに関連付けられたデータに対する複数の実行可能な機能の一覧を表示部16に表示させるようにしてもよい。

## 【 0 0 5 2 】

図6は図2（b）に示した動作の変形例を示すフローチャートである。図6におけるステップA4～ステップA9までの動作は図2（b）と同様であるので、説明を省略する。

## 【 0 0 5 3 】

図1及び図6において、ステップA9の後、ステップA8において選択されたアイコンに関連付けられたデータに対する複数の実行可能な機能の一覧が表示部16に表示される（ステップA11）。

## 【 0 0 5 4 】

選択されたアイコンに関連付けられたデータが電子メールである場合、このメールに対する複数の実行可能な機能として、当該メールの本文を表示する本文表示機能、当該メールの送信者にメールを返信するための返信機能、当該メールを転送するための転送機能及び当該メールの送信者を記憶部14の所定の領域に登録する送信者登録機能が一覧表示される（ステップA11）。

## 【 0 0 5 5 】

選択されたアイコンに関連付けられたデータが画像である場合、この画像に対する複数の実行可能な機能として、当該画像をメールに添付するメール添付機能及び当該画像を待ち受け画面の壁紙に設定する壁紙設定機能が一覧表示される（

ステップ A 1 1)。

【 0 0 5 6 】

選択されたアイコンに関連付けられたデータがメロディである場合、このメロディに対する複数の実行可能な機能として、当該メロディをメールに添付するメール添付機能及び当該メロディを着信音に設定する着信音設定機能が一覧表示される (ステップ A 1 1)。

【 0 0 5 7 】

選択されたアイコンに関連付けられたデータが電話番号である場合、この電話番号に対する複数の実行可能な機能として、当該電話番号に電話をかける電話機能及び当該電話番号を含むメールを作成するメール作成機能が一覧表示される (ステップ A 1 1)。

【 0 0 5 8 】

選択されたアイコンに関連付けられたデータに対する複数の実行可能な機能の一覧が表示されている状態において、ユーザが入力部 1 7 を用いてこの一覧の中から一の項目 (一の機能) を選択すると (ステップ A 1 2)、これに対応する機能が起動され実行されることとなる (ステップ A 1 3)。

【 0 0 5 9 】

電子メールを例にとれば、メールに対する複数の実行可能な機能 (本文表示機能、返信機能、転送機能及び送信者登録機能) の一覧の中から例えば本文表示機能がユーザにより選択されると (ステップ A 1 2)、表示制御部 1 5 は、制御部 1 3 からの指示に従って、メールの本文を表示部 1 6 に表示させる (ステップ A 1 3)。

【 0 0 6 0 】

図 6 に示された動作に従った表示部 1 6 の表示画面の遷移例を、電子メールを例にとり説明する。図 7 は図 1 の表示部 1 6 の表示画面の遷移例を示す図である。

【 0 0 6 1 】

図 1 及び図 7 において、アイコンが表示部 1 6 の待ち受け画面に表示されている場合に (画面 G 参照)、このアイコンがユーザにより選択されると、当該アイ

コンに関連付けられたメールに対する複数の実行可能な機能の一覧が、表示制御部 1 5 により表示部 1 6 に表示される（画面 H 参照）。なお、画面 G では、通常表示される現在時刻情報やバッテリー残量情報等は省略されている。

【 0 0 6 2 】

そして、この一覧の中から例えば「2. 返信」の項目がユーザにより選択されると、このメールに対する返信機能が起動され実行される。すなわち、表示制御部 1 5 は、制御部 1 3 からの指示に従って、当該メールの送信者を宛先とするメールの作成用画面を表示部 1 6 に表示させる（画面 I 参照）。

【 0 0 6 3 】

このように、図 6 に示された動作によれば、携帯電話機に保持されているデータがユーザに参照されたならば、待ち受け画面表示時に、当該データに関連付けられ当該データに対する複数の実行可能な機能の提供用のアイコンを表示部に表示するようにしている。

【 0 0 6 4 】

次に、図 5（b）に示した動作の変形例について説明する。図 5（b）では、表示部 1 6 に表示されたアイコンが選択されると、これに関連付けられた URL アドレスを基に通信ネットワークを介してサーバのファイルをアクセスしていたが、表示部 1 6 に表示されたアイコンが選択されると、これに関連付けられた URL アドレスに対する複数の実行可能な機能の一覧を表示部 1 6 に表示させるようにしてもよい。

【 0 0 6 5 】

図 8 は図 5（b）に示した動作の変形例を示すフローチャートである。図 8 におけるステップ B 4 ～ステップ B 9 までの動作は図 2（b）と同様であるので、説明を省略する。

【 0 0 6 6 】

図 1、図 4 及び図 8 において、ステップ B 9 の後、ステップ B 8 において選択されたアイコンに関連付けられた URL アドレスに対する複数の実行可能な機能の一覧が表示部 1 6 に表示される（ステップ B 1 2）。

【 0 0 6 7 】

すなわち、このURLアドレスに対する複数の実行可能な機能として、当該URLアドレスを基に通信ネットワークを介してファイルをアクセスするブラウザ機能、当該URLアドレスにより特定されるファイルのアクセスを容易にすべく当該URLアドレスを登録するブックマーク機能及び当該URLアドレスを含むメールを作成するメール作成機能が一覧表示される（ステップB12）。

【0068】

そして、ユーザが入力部17を用いてこの一覧の中から一の項目（一の機能）を選択すると（ステップB13）、これに対応する機能が起動され実行されることとなる（ステップB14）。

【0069】

ステップB13において例えばブラウザ機能が選択されると、制御部13がURLアドレスを基に通信ネットワーク40を介してサーバ30のファイルを取得すべく制御をなすことにより、Webページが表示部16に表示される。

【0070】

このように、図8に示された動作によれば、通信ネットワークを介してサーバのファイルをアクセスしたならば、待ち受け画面表示時に、当該ファイルのアドレスに関連付けられ当該アドレスに対する複数の実行可能な機能の提供用のアイコンを表示部に表示するようにしている。

【0071】

なお、本発明の実施例では、アイコンを用いているが、例えば文字や数字のようなアイコン以外の表示体を参照されたデータに関連付けて表示部に表示するようにしてもよいことは勿論である。

【0072】

上記図2、図5、図6及び図8に示した各フローチャートに従った処理動作は、予めROM等の記憶媒体に格納されたプログラムを、CPU（制御部）となるコンピュータに読み取らせて実行せしめることにより、実現できることは勿論である。

【0073】

【発明の効果】

本発明による効果は、使い勝手が向上されることである。その理由は、移動通信端末装置に保持されているデータがユーザに参照されたならば、待ち受け画面表示時に、当該データに関連付けられ当該データの参照用の表示体を表示部に表示するようにしているためである。

【0074】

また、移動通信端末装置が通信ネットワークを介してサーバのファイルをアクセスしたならば、待ち受け画面表示時に、当該ファイルのアドレスに関連付けられ当該ファイルのアクセス用の表示体を表示部に表示するようにしているためである。

【0075】

また、移動通信端末装置に保持されているデータがユーザに参照されたならば、待ち受け画面表示時に、当該データに関連付けられ当該データに対する複数の実行可能な機能の提供用の表示体を表示部に表示するようにしているためである。

【0076】

また、移動通信端末装置が通信ネットワークを介してサーバのファイルをアクセスしたならば、待ち受け画面表示時に、当該ファイルのアドレスに関連付けられ当該アドレスに対する複数の実行可能な機能の提供用の表示体を表示部に表示するようにしているためである。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の実施例による携帯電話機の構成を示す図である。

【図2】

図1の携帯電話機の動作を示すフローチャートであり、(a)はデータ参照時の動作を示すフローチャートであり、(b)は待ち受け画面表示時の動作を示すフローチャートである。

【図3】

図2に示された動作に従った表示部の表示画面の遷移例を示す図である。

【図4】

図 1 の携帯電話機を含む移動通信システムの構成を示す図である。

【図 5】

図 1 の携帯電話機の動作を示すフローチャートであり、(a) はサーバのファイル参照時の動作を示すフローチャートであり、(b) は待ち受け画面表示時の動作を示すフローチャートである。

【図 6】

図 2 (b) に示した動作の変形例を示すフローチャートである。

【図 7】

図 6 に示された動作に従った表示部の表示画面の遷移例を示す図である。

【図 8】

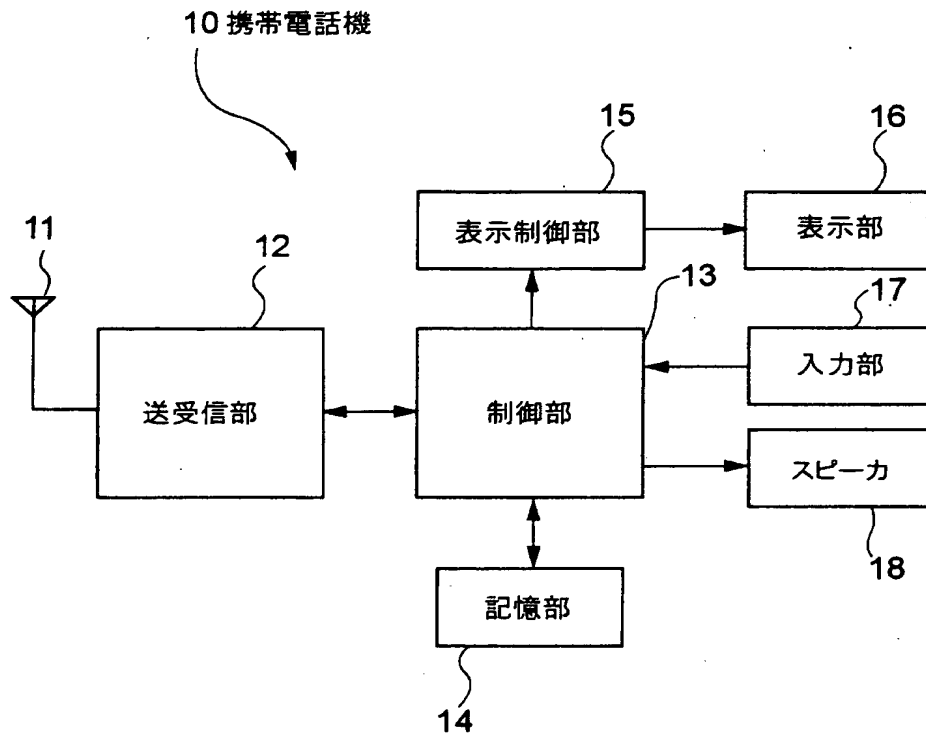
図 5 (b) に示した動作の変形例を示すフローチャートである。

【符号の説明】

- 1 0 携帯電話機
- 1 1 アンテナ
- 1 2 送受信部
- 1 3 制御部
- 1 4 記憶部
- 1 5 表示制御部
- 1 6 表示部
- 1 7 入力部
- 1 8 スピーカ
- 2 0 基地局
- 3 0 サーバ
- 4 0 通信ネットワーク

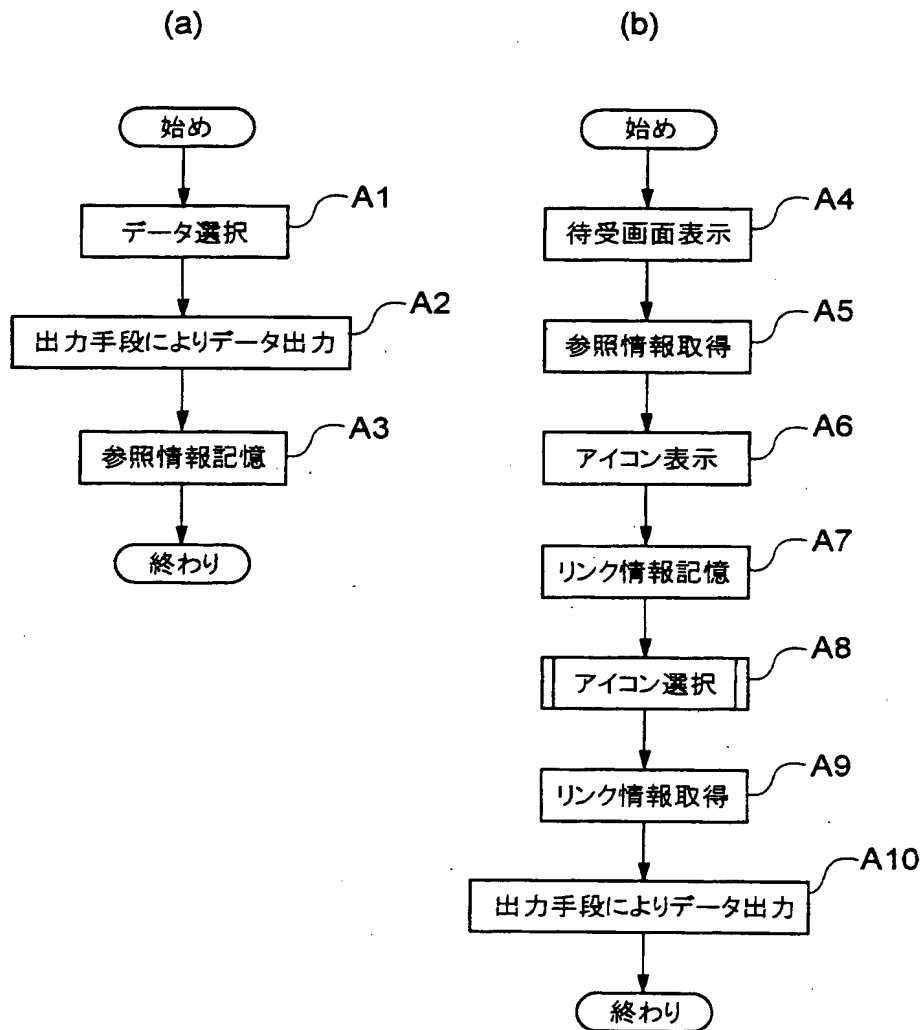
【書類名】 図面

【図 1】

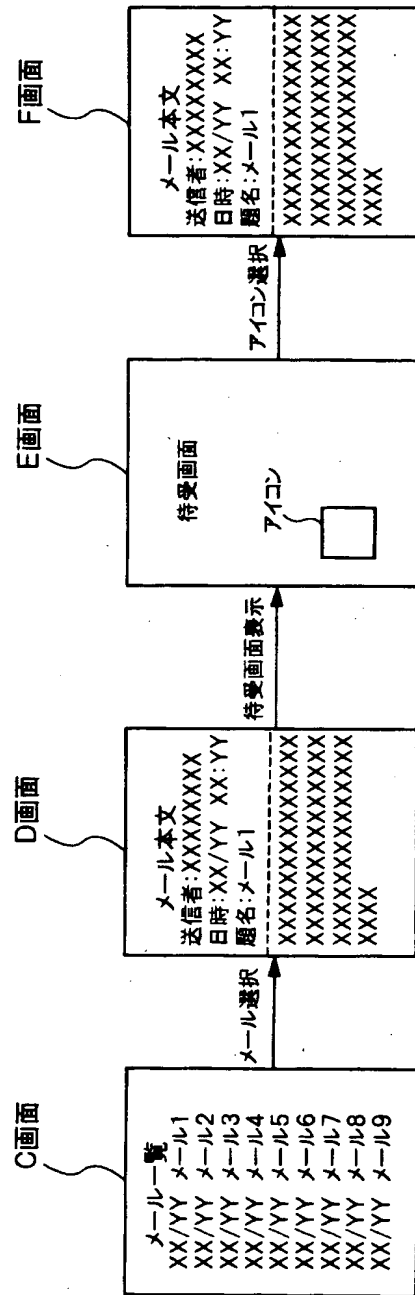




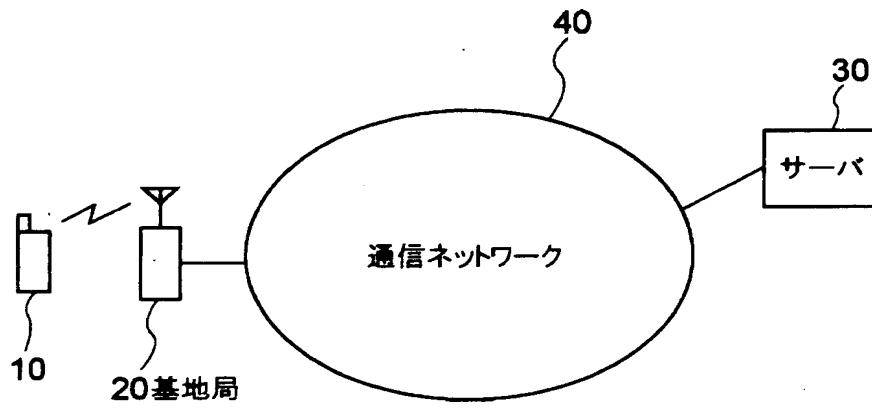
【図 2】



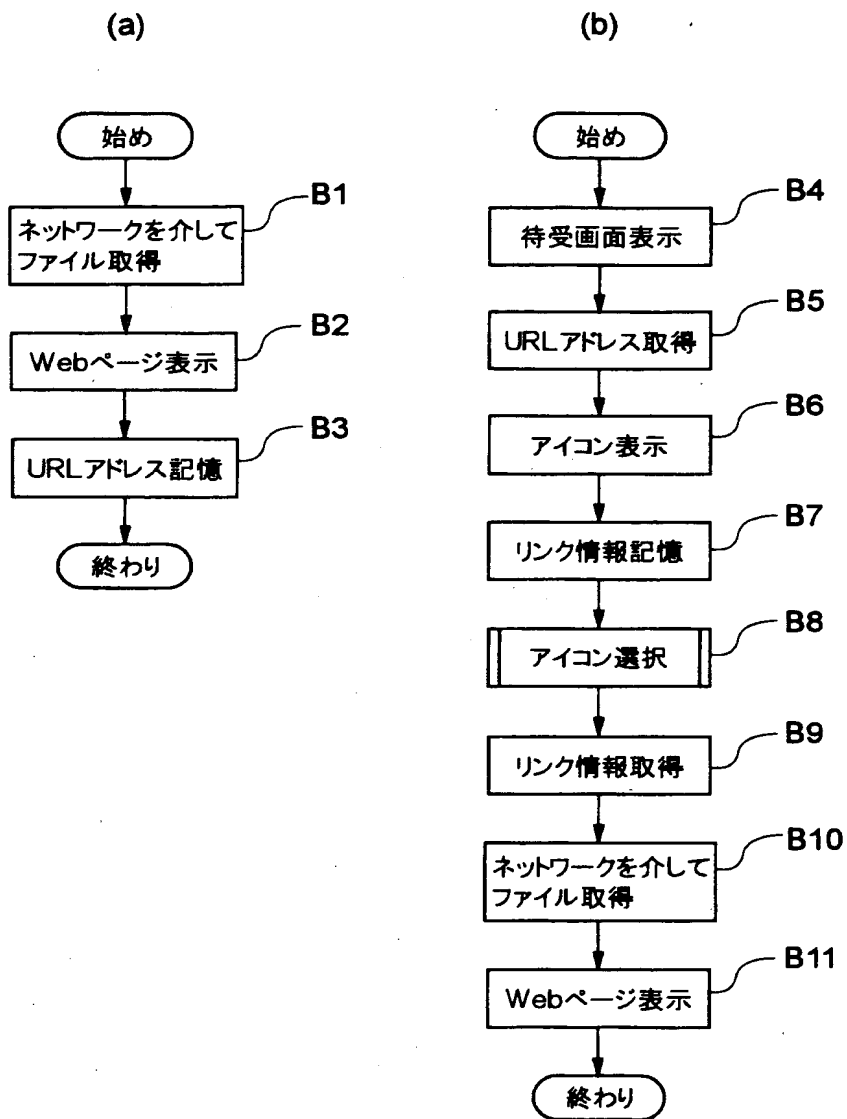
【図 3】



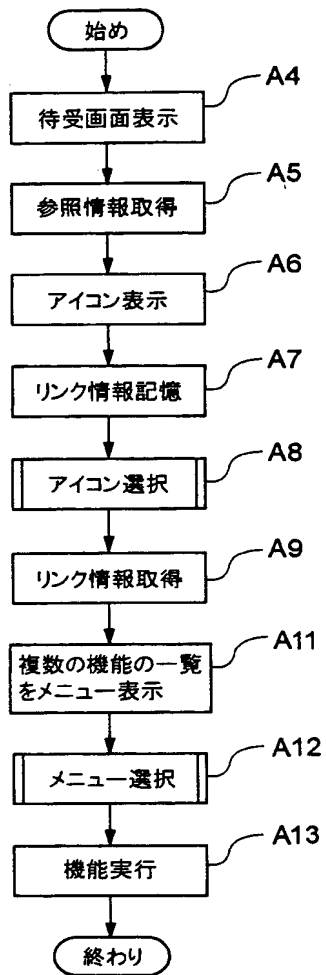
【図 4】



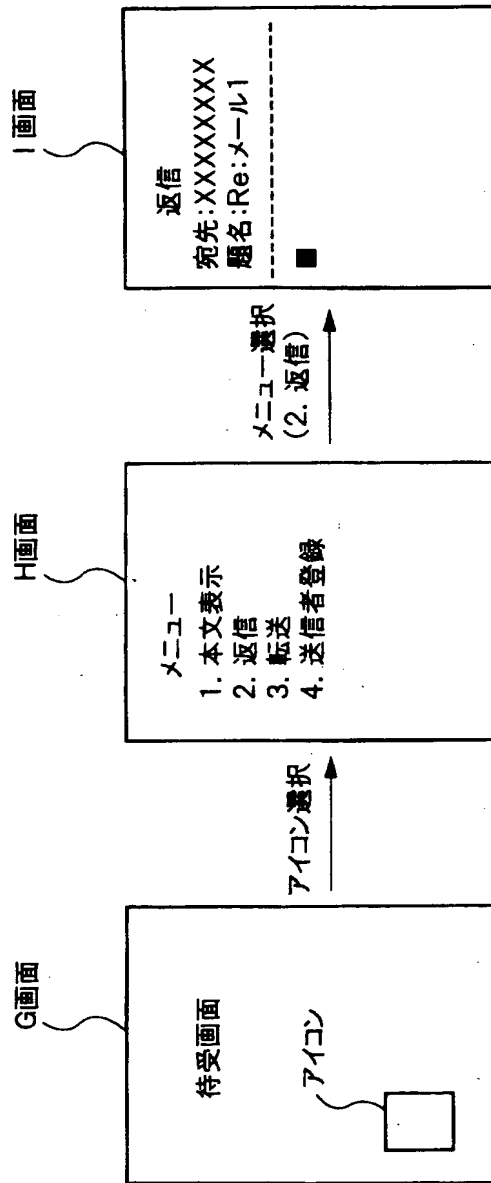
【図 5】



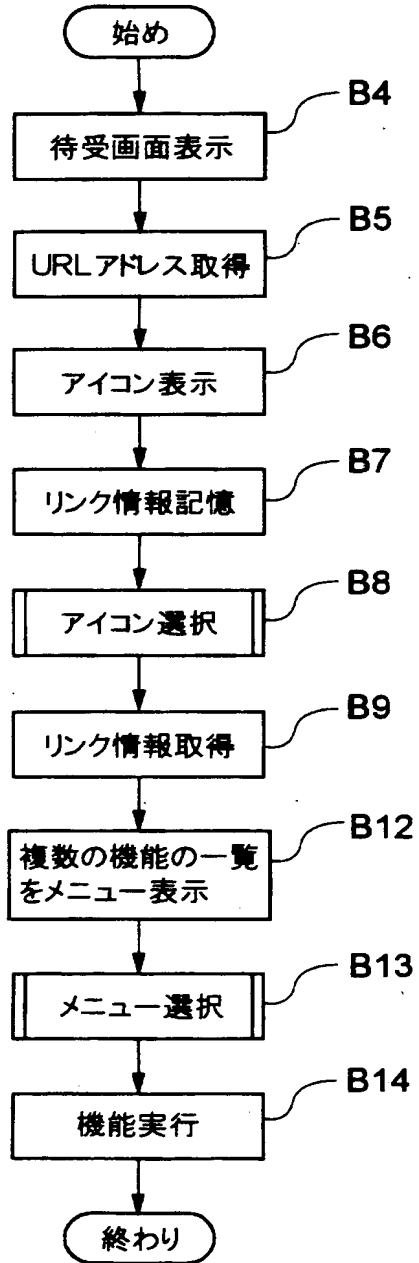
【図 6】



【図 7】



【図 8】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 使い勝手を向上させることができる移動通信端末装置を得る。

【解決手段】 ユーザの操作により携帯電話機に保持されている電子メールの本文が表示部に表示される（画面D参照）。そして、ユーザによる当該メールの参照が終了すると、表示部の表示画面は待ち受け画面に遷移する。この待ち受け画面上に、当該メールに関連付けられたアイコンが表示される（画面E参照）。そして、ユーザの操作によりこのアイコンが選択されると、これに関連付けられたメールの本文が再び表示部に表示される（画面F参照）。

【選択図】 図3



出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000004237]

1. 変更年月日	1990年 8月29日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都港区芝五丁目7番1号
氏 名	日本電気株式会社